

子育て／健康複合施設 子どものための防音対策は

永元 香子 (日本共産党)



問 約3年後の完成を目指し、健康会館、ドリーム学園、子ども家庭支援センターの複合施設の建築計画が進められています。立川市子育て／健康複合施設(仮称)基本計画によると、1階にドリーム学園を設置するようです。子どもたちが日中過ごすときに、プレイルームで音楽をかけて体を動かしたり、遊んだり、伸び伸びと過ごせるように、しっかりと防音設備の充実が必要と考えます。ドリーム学園の防音対策について、お示しください。

答 ドリーム学園では、児童発達支援事業所として日常的に音楽をかけて療育プログラムを実施することから、活動を行う各部屋の壁面には吸音性のある素材を充填し、天井にも吸音性能のあるボードを採用して、防音効果を確保します。また、健康会館側とドリーム学園側を繋ぐ扉は縁にゴムが付いた防火扉であり、療育を行う各部屋にも扉が設置されることから、防音効果が期待できる施設であると考えています。

一般質問項目 ①健康会館、ドリーム学園、子ども家庭支援センターの複合施設計画について ②市内4か所にある福祉作業所について ③ジェンダー平等と女性の自立支援について

三中前通学路の安全対策 地域の要望をまとめ合意形成を

福島 正美 (公明党)



問 三中前の市道は道幅が狭く、長年危険な通学路となっています。これまで地域や学校、PTA、警察、行政等がこの課題を共有し対策を話し合う会議の開催を提案してきたが、地域主催で7月に初めて開催されました。この会議についてどう捉えていますか。交通管理者からは交通規制は渋滞が発生するといわれているが、市の見解は。また道路に凹凸を設けるハンプを検討できないか。市には地域の要望をまとめ合意を生み出す役割を担っていただきたい。

答 地域の住民が課題に対し総意をもって進めていくことが解決への糸口と考えています。関係者が一堂に会し、地域が総意をまとめることが重要との認識を共有できたことは有意義でした。交通規制により多少渋滞は起こると考えています。ハンプの設置は、道路に隣接する居住者の理解が条件となり、交通管理者との協議も必要です。地域の意見をもって相談があれば、関係部署と連携して対応していきます。

一般質問項目 ①防犯カメラの設置推進について ②繁華街の清浄な風俗環境の実現を ③立川三中前市道の安全対策について



用語解説

ダブルケア

広い意味では、複数の家族や親族のケアを担う状態のこと。狭い意味では、子育てと介護を同時に担う状態のこと。



用語解説

立川印(たちかわじるし)

立川農業の価値と魅力を広く理解してもらうために、立川農業振興会議から推薦された生産者たちが作り上げたブランドマーク。



用語解説

ハッシュタグマガジン

立川に愛着をもってもらい、立ち寄りたくなる、通いたくなるまちとしてPRするフリーマガジン。6年前から年に1冊ずつ発行している。市公共施設のほか、書店などに置かれている。



都立高校入試の英語テスト スピーキング導入は見直すべき

原 ゆき (立憲ネット緑たちかわ)



問 東京都教育委員会は、今度の都立高校入試から中学校英語スピーキングテストの結果を活用する方針ですが、このテストには多くの問題があります。例えば、結果の開示請求に応じないため入試の透明性、信頼性に疑問があります。市には設問ごとのスコアが返却されるのでしょうか。また、本年11月にテストが実施されますが、会場について現時点での情報をお示しください。今後も新たなことが分かり次第、保護者や受験生に丁寧な説明をお願いします。

答 スピーキングテストの結果については、個人のスコアレポートを令和5年1月中旬からウェブ上で確認することができます。開示請求への対応は、学校や教育委員会に今後どのような結果の詳細が送られてくるかが示されてから、検討します。テストを実施する会場については、現時点では都立高校及び民間施設等と示されており、10月上旬に中学校を通じて周知されることになっています。

一般質問項目 ①都立高校入試英語スピーキングテストについて ②立川市の産前産後ケアの現状 ③立川七中の体育館建て替えに伴う今後の影響

介護する人の支援 ケアラー支援条例を制定すべき

あべ みさ (立憲ネット緑たちかわ)



問 老老介護やダブルケア、ヤングケアラー、障がい者の介助等、ケアラーの状況は多様ですが、核家族化が進み、地域での交流も減る中で社会的に孤立したり、生活が困窮したり、痛ましい事件が起きたりしています。今後のケアラーの増加を見据えた取り組みが必要ですが、どのような計画を立てていますか。また、ケアラーも健康で文化的な生活ができるように、基本理念を掲げ、ケアラーを支える条例を制定すべきと考えますが、見解を伺います。

答 現在のところ、具体的な計画はありませんが、各課題への対応や相談は、重層的支援体制の事業等を活用しながら、関係機関と連携して対応していきたい。また、ケアラー支援条例の制定については予定していません。今後、重層的支援会議の中で、ケアラー支援に関する課題や本市の状況等を整理していくとともに、都や近隣市の動向も参考としながら、各関係機関と連携して研究していきたいと考えています。

一般質問項目 ①ゲノム編集食品の取り組みについて ②介護する人を支えるケアラー支援条例について ③気候危機対策を喫緊の問題として取り組むための気候非常事態宣言について ④砂川学習館の「砂川闘争」展示スペースの確保について

立川農業ブランド「立川印」 成果に繋がるサポートの継続を

高島 奈美 (たちかわ自民党・安進会)



問 立川農業全体をブランド化する取り組みの一環として、立川印が誕生しました。今後立川ブランドを広めるにあたり、飲食店やスーパーなど、商業施設との協働が欠かせず、積極的な広報や消費者へのPRも必要であると考えますが、現在の取り組みについて伺います。また、立川印が今後多くの人々に愛されるブランドとして育まれていくことが必要であり、専門家に関わっていただくことも一つの案と考えますが、市の見解を伺います。

答 立川印は、直売所での販売に活用しており、広報への掲載等を通じて認知度を上げる取り組みを進めています。農業者側で使える立川印のシール等の配布も行っており、立川産食材を使う飲食店マップも年内の配布を目指して制作しています。今後は、みの一れ立川の売場の改善にアドバイザーの意見を生かして取り組むことを予定しており、農業者が成果に繋がる手応えを実感できることを目指しています。

一般質問項目 ①立川農業・立川印について ②立川市内公共施設について ③今後の公共施設整備における基金の考え方について

立川駅南口のコトリンク まちの活性化に貢献を

浅川 修一 (日本共産党)



問 市は、コトリンクで運営を委託している事業者に対して、家賃を減免しています。コトリンクについては、当初のコンセプトである、にぎわいや南口のまちづくり、回遊性等にどう貢献するのが大事です。コトリンクが南口全体の活性化に役立つためには、まだまだ市と事業者の努力が必要です。事業者には家賃の減免を受けている対価という面からも、南口のまちづくり活性化に貢献していただくべきと考えますが、市の見解を伺います。

答 コトリンクにある情報発信センターの事業には、地域の事業者やクリエイターと連携して地域貢献につなげていく取り組みがあります。市民や事業者から情報発信等に関する相談を受けています。市のハッシュタグマガジンの連動企画のイベントには、多数の来場者がありました。このようなにぎわいを創出するイベントを今後増やしていき、南口の活性化、回遊性につながるよう、市も後押ししていきたい。

一般質問項目 ①入札制度について ②コトリンクについて ③柴崎町・富士見町のまちづくりについて ④がん対策基本条例の制定について